

彙報

昭和三十七年度  
国文学科卒業論文題目

女房言葉

安部 式子

上代文学における酒

石橋 幸代

多田南嶺の研究

上田ミユキ

徳富蘆花に見る日本文学の縮図

大野 宏美

近松の作者意識について

『浄瑠璃 難波土産』を中心として

岡崎 恵子

豊島与志雄の童話

岡野 祐子

紫式部の生活意識について

緒方 清子

源氏物語における左大臣家の血筋

沖 陽子

宮沢賢治研究

羅須地人協会時代を中心に 角田 澄子

今昔物語における文芸性について

川建 順子

二葉亭四迷の文学

『浮雲』第三篇を中心に 河野 禎子

堤中納言物語の国語学的考察

柏原 由紀

万葉・古今における桜

久良木成美

記紀における歌物語的伝説について

古賀 久子

神話伝説に関連した万葉歌について

是此田勝子

万葉集挽歌について

―主として短歌形式について―

齋藤 文子

万葉集の一研究 羈旅の歌について

佐田 辰子

堤中納言物語研究

正崎 嘉子

高村光太郎研究

次郎丸サエ子

門地文子小論

高橋 雅子

源氏物語における年令意識について

高山 幸子

近松世話物の老人

田代恵美子

古今集諸本の仮名の研究

田中 和子

非一字一音節を中心に

福岡県行橋市の方言

玉江 元子

西鶴における道徳

―「本朝二十不孝」を中心に―

津崎 尚子

国木田独歩の文学

―「欺かざるの記」を中心に―

古風土記逸文考

水流 美子

漱石における個人主義倫理の究極

中村 信子

本阿弥行状記にみられる光悦 古庄 光子

西鶴浮世草子における老人

―老女を中心に―

堀江 厚子

徒然草の研究 趣味論を中心として

堀 文子

枕草子の自然

―「古語拾遺」の研究

鴨長明研究

狂言における第二人称代名詞について

三木 弘子

謡曲の研究 ―狂女物を中心に―

村上真知子

平家物語の一研究

―女性記事をめぐって―

万葉集東歌の庶民性と貴族性について

村田 圭子

源氏物語特殊人物考

『建礼門院右京大夫集』の研究

―「とはすがたり」との比較―

米谷恵美子

記紀歌謡についての一考察

和田 佳子

源氏物語における子の哀しさについて

藤原イツ子

源氏物語の研究

―対偶意識を中心として―

重津英美子